協　会　報

日本林業

● 2026年　6月号 ●
発行日：2026年　6月　17日

発行：一般社団法人　日本林業協会
〒　112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12　林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931　FAX. 03-6801-8932
編集･発行人　　島田　泰助

協会からの
情報提供は

- 一般向け情報誌
  『森林と林業』
  毎月25日発行
- 会員向け情報誌
  『協会報日本林業』
  毎月5日発行

いずれも土日祝日は繰り下げ発行となります。

目次：

林活地方議連全国連絡会議令和８年度第１回役員会を北海道において開催	1～3
「森林･林業基本計画」及び「全国森林計画」の変更が閣議決定	4
国会･業界行事日程(5月)	5・6

林活地方議連全国連絡会議 令和８年度第１回役員会を 北海道において開催

６月４日（木）14時00分、『令和８年度全国連絡会議第１回役員会』の会場を都内から北海道に替えて久々に地方での開催となりました。

市村（いちむら）会長の昨年度からの強いご希望とお地元北海道の三好（みよし）道議会議員（全国連絡会議の幹事）のご尽力により、札幌駅近くの貸会議室で始まりました。

小林幹事長による司会進行

小林（こばやし）幹事長の司会進行により、冒頭、市村会長のご挨拶が行われた後、来賓としてご出席いただきました林野庁森林整備部森林利用課の増山寿政（ますやまとしまさ）課長からご挨拶をいただくとともに、お地元を代表して北海道議会の三好雅（みよしまさし）議員にご挨拶をいただきました。

挨拶される市村会長

続いて､市村会長が議長となって議事に入りました。議題は、８月24日（月）14時から開催予定の『令和８年度定時総会』に提出される「令和８年度提言（案）｣､｢令和８年度事業計画（案）｣、及び「令和８年度スローガン（案）」で、事務局からの説明後、質疑応答を行い、原案通り承認されました。

挨拶される三好幹事

その後、総会用の「令和７年度事業報告（案）」､「令和７年度収支決算書（案）」､「監査報告（案）」､「令和８年度収支予算書（案）」、及び「役員改選について（未定稿）」について事務局から説明が行われ特に質疑なく終了しました。

森林労連の「要請書」を手交

続いて、全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会（森林労連）からの『要請書』について、事務局が『要請書』を読み上げた後､市村会長へ手交されました。

なお、『要請書』につきましては、林活地方議連全国連絡会議会長名で全国の林活議連会長あてに送付され、都道府県議会・市町村議会における要請活動等の際に、関係機関に対する提言・要請活動に活用されるよう市村議長から発言がありました。

すべての議事が終了したため、休憩の後、小林幹事長の司会により恒例の講演

会に入りました。

　まず、来賓としてご出席いただいた林野庁森林整備部森林利用課の増山寿政課長が、『森林・林業を巡る最近のトピック』と題して、「森林・林業基本計画」の見直し案について詳細に説明された後、役員との間で質疑応答が行われました。

増山課長によるご講演

　続いて、北海道庁水産林務部林務局の立原泰直（たちはらやすなお）局長が、『北海道の森林・林業・木材産業の概要』と題して講演されました（それぞれのご講演資料をご覧になりたい方は事務局までご連絡ください）。

立原局長によるご講演

　また、翌日は北海道庁のご配慮により、『北海道大学ワイン教育研究センター』を見学させていただきました。この建物は、1901年に移築された優れた木造建築で、創基150年記念事業によって全面的な改修が行われたもので、北海道を代表する樹種・木材がふんだんに使われた歴史的建造物です（説明書を掲載）。

「ワイン教育研究センター」視察の冒頭に挨拶される北海道林活議連・佐藤幹事長

北海道大学最古の木造建築をワイン教育研究センターとして活用する

Utilizing cultural property as Center of Education and Research for Hokkaido Wines

1901 年に建てられた旧札幌農学校昆虫学及養蚕学教室は、北海道大学札幌キャンパスに現存する最古の木造建築物で、2000 年に国の有形文化財として登録されました。登録有形文化財は、建築物の歴史的価値を尊重しつつ、その積極的な活用を促すために 1996 年の文化財保護法改正によって創設された制度です。外観にはオリジナルを保つことを求められる一方で、建物内部では時代の用途にあわせた改変が認められています。
旧昆虫学及養蚕学教室は、当初の教室としての役目を終えて以来、これまで北海道大学のさまざまな用途に使われてきました。かつてインフォメーションセンターとして使われていた時代までに、すべてのオリジナルの間仕切り壁は撤去、異なる位置に間仕切り壁が新設され、石膏や板材のオリジナル天井は、下部に天井が新設されることによって隠されました。一方で、屋根は瓦葺から鉄板吹きに、外壁は吹き付け材に改変されていますが、建物の形状・煉瓦積みの基礎・木製上げ下げ窓などは当初の仕様が保たれています。あいにく、これまでの改修工事記録の多くは失われており、建物竣工当時の仕様を確認できる史料は、当初設計図の一部と、数枚の古写真に限られます。
北側に隣接して 1927 年に建てられた旧昆虫学標本室は、札幌軟石による組積造の壁に鉄筋コンクリート造の屋根が乗る建築物で、北海道大学独自の歴史的建造物としてリストアップされています。近年では、残存数が少なくなった札幌軟石による貴重な歴史的建造物ですが、耐震性能の問題から、ここ数十年間は使われることなく閉鎖されていました。
このたび、北海道大学創基 150 周年事業の一環として、旧昆虫学及び養蚕学教室と旧昆虫学標本室を、農学研究院による新たな時代に向けた産学官連携事業であるワイン教育研究センターとして活用するという方針のもと大規模な改修工事を行いました。改修にあたって、まず、建物創建時の仕様を確認するための史料調査と、建物の現状調査を行い、後に設置された内装仕上げ材の背後に残されたオリジナルの建物仕様の確認、壁内部に後に付加された断熱材と木材の腐朽状況の調査、あわせて耐震性能の評価を行いました。さらに、ワイン教育研究センターという新しい機能に求められる居住環境を満たす建物性能を検討し、改修工事の全体方針を定めました。
この小冊子では、これまで 120 年余りの長きにわたって使われ、文化財として一般社会に広く知られているこれらの歴史的建造物を、北海道大学札幌キャンパスの新しい顔として、次の 100 年に使っていくためにどのように改修したのか、その概要をご紹介します。

2024年9月
北海道大学大学大学院工学研究院 教授
総長補佐（施設環境計画室）
小澤 丈夫

出典：「北海道大学ワイン教育研究センター　建物の改修について」

「森林・林業基本計画」及び「全国森林計画」の変更が閣議決定
～森林・林業・木材産業の好循環を生み出し、百年つづく「森の国・木の街」を実現～
併せて、林政審議会施策部会の中に新たに『国有林小委員会』設置が決定!!

令和８年６月５日（金）の閣議で『森林・林業基本計画』及び『全国森林計画』の変更が決定されました。また、５月27日に開催された林政審議会（立花敏会長）において、同審議会の施策部会内に『国有林小委員会』を設置して、本年９月から検討作業を始めることが決定されました。

新設される小委員会では、『新・森林・林業基本計画』を踏まえて、国有林野事業の新たな施策の展開方向について集中的に議論することとされており、具体的な検討課題として以下の５項目が想定されています。

①多様性の高い森林づくり、
②山地の防災・減災への対応、
③林業経営体の経営基盤の強化、
④地域における持続的な木材生産への貢献、
⑤開かれた「国民の森林」としての管理経営

『新・森林・林業基本計画』では、国有林の役割について、「全国的な組織・技術力や豊富な森林資源を活用した民有林支援等を通じ、地域の森林・林業施策の課題解決をリードしていく」と位置付けています。

なお、小委員会での検討成果は、「国有林野の管理経営に関する基本計画」（2023年12月策定）の改定に反映されることになります。

【５月27日開催　林政審議会　資料２】
次期森林・林業基本計画を踏まえた国有林施策の具体化に関する検討について

１　趣旨

次期森林・林業基本計画においては、多様性の高い森林づくりや山地の防災・減災への対応、林業経営体の経営基盤の強化、地域における持続可能な木材生産への貢献など、国有林野に係る施策の展開方向が示されたところ。これらを踏まえて、国有林施策を具体化し、国有林野の管理経営に関する基本計画の変更を検討する必要がある。

今後の国有林施策の方向性については、施策部会に「国有林小委員会」を設置し、集中的な検討を行った上で、その結果を踏まえて林政審議会本審において、同計画の変更を審議いただきたい。

２　当面のスケジュール

令和８年６～８月　委員の選定
令和８年９月頃　林政審議会において委員指名、小委員会設置
第１回国有林小委員会を開催（以降、合計３回程度開催）
令和９年４月頃　林政審議会本審へ報告

令和　８年　５月　国会の動き

《国会関連》
８日（金）参・本会議
国家情報会議設置法案　趣説・質疑
11日（月）参・決算委
令和６年度決算外２件　全般質疑
12日（火）衆・本会議
食糧法案　趣説・質疑
衆・農水委
食糧法案　提説
参・農水委
一般質疑、家伝法案　提説
13日（水）衆・農水委
食糧法案　質疑
参・本会議
健康保険法案　趣説・質疑
14日（木）参・農水委
家伝法案　質疑
15日（金）参・本会議
出入国管理法案（法務委）　趣説・質疑
19日（火）参・農水委
（議法）食育基本法案　提説・質疑
20日（水）衆・農水委
食糧法案　参考人質疑
参・本会議
産業技術力強化法案（経産委）　趣説・質疑
22日（金）参・本会議
防災庁設置法案、防災庁整備法案　趣説・質疑
26日（火）衆・本会議
刑事訴訟法案、（衆９）刑事訴訟法案　趣説・質疑
衆・農水委
食糧法案　質疑
27日（水）参・本会議
経済安保推進法案　趣説・質疑
29日（金）参・本会議
学校教育法案　趣説・質疑

令和　８年　５月　業界の動き

【３月】
30日（月）林野庁
「スマート林業技術の現場実装ビジョン」及びと「木質系新素材の社会実装ビジョン」を策定、公表
【４月】
８日（水）宮崎県
「第八次宮崎県森林・林業長期計画」を改定、公表
13日（月）（有）天女山
「甲信デジタル林業戦略コンソーシアム」が発足
16日（木）三重県
県創設の「美し国みえ森林J－クレジット」で初の売買契約成立
17日（金）国土緑化推進機構・日本森林林業振興会
「第6回世界遺産の森と木フォトコンテスト」の審査結果を発表
22日（水）林野庁
現行の全国森林計画の変更内容を林政審議会に提出
24日（金）政府
天皇皇后両殿下ご臨席の下、第20回「みどりの式典」を開催
長野県
「ふるさと回帰支援センター・東京」の移住相談窓口「信州暮らしサポートデスク」を県産材でリニューアル
26日（日）自民党政務調査会・林政対策委員会
林業関係で初めての「移動政調会」を岐阜県で開催
28日（火）林野庁
国有林野事業に関する今年度（2026年度）の主要取組事項及び事業量等を公表
日本住宅・木材技術センター
「銘木館」（東京都江東区新木場）がリニューアルオープン
29日（水）政府
今年（2026年）春の叙勲及び褒章の

令和　8年　5月　業界の動き

受章者を発表
30日（木）国土交通省
昨年度（2025年）の新設住宅着工戸数を公表

【5月】
8日（金）秋田県議会棟
新館の玄関ホールに秋田スギを使った大型のCLTベンチを設置
9日（土）農林水産省
「第35回森と花の祭典　みどりの感謝祭式典」を開催
12日（火）日本合板工業組合連合会
通常総会を開催
13日（水）北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会・㈱ステラーグリーン
「持続可能な脱炭素社会実現に向けた連携協定」を締結
14日（木）全国木材組合連合会・全国木材協同組合連合会　通常総会を開催。全国連新会長に平方宏氏、全木協連会長に庄司良雄氏を選出
15日（金）全国木材・検査研究協会
定時社員総会を開催
㈱イトーキ
東京大学農学部5号館1階に、国産材を活用した共創空間「co-niwa Econifa（コニワ・エコニファ）」を新設
17日（日）「第76回全国植樹祭」を愛媛県松山市で開催
21日（木）全国素材生産業協同組合連合会
通常総会を開催。新会長に佐藤総栄氏を選出
24日（日）岡山県西粟倉村
「百年の森林まつり2026」を実施
29日（金）・30日（土）主催＝実行委員会、事務局＝㈱リタプラス）
「2026林業・環境機械展示会in日田」を開催
31日（日）兵庫県立森林大学校
今年度（2026年度）1回目のオープンキャンパスを開催

令和　8年　5月　業界の動き